



大山たか子通信

高ちゃんつうしん

* 2025. 10 No.59 *



市議会:087(839)2831 自宅:087(888)3272

eメール:takachan.takamatsu@gmail.com HP: <https://www.t-ooyama.jp/>



**皆さま、こんにちは。
今年11月15日から「東京デフリンピック2025」が開催されます。ご存じでしょうか？**

デフリンピックは、耳のきこえないきこえにくい方々の「もうひとつのオリンピック」。1924年にフランスで始まり、100年の歴史を持つ大会です。今回初めて東京で開かれることになりました。この大会をきっかけに手話や聴覚障害への理解が広がることを願っています。今年は「手話施策推進法」も成立しました。社会全体で手話を学び、誰もが安心して暮らせる地域を目指していきたいと思います。そのために私自身も学び、行動を重ねてまいります。



9月12日 不登校支援の教室を視察

高松市は9月、不登校の児童生徒を支援する教室を総合教育センター内にプレオープンしました。小学1年生から4年生向け「なないろ」と小学5年生～中学3年生向け「しずく」の2教室で、少人数の学習支援やソーシャルスキルトレーニング(社会生活技能訓練)を行います。これまで対象外だった小学3年生以下も受け入れるようになり、支援員も増員。来年度からの本格実施を目指しています。公明党議員会としても一貫して要望してきた取り組みで、子どもたちへの温かい配慮のある教室を見せさせていただきました。



高ちゃん活動報告



元山町の道路舗装が完成！

長年傷んでいた道路が、ついに舗装されました。令和3年頃から「道路がボコボコで車が通るとアスファルトの破片が飛んでくる」とご近所の方からご要望があり、八木党員さんを通じて私に相談が寄せられていました。実現まで4年以上かかりましたが、今年2月に無事工事が完了し、地域の皆さんに大変喜んでいただいています。

● 3月議会報告(代表質問) ●

質問のポイント

- ①現在の本市の財政状況をどう見ているのか
- ②ふるさと納税制度の現状と今後の方向性
- ③ネーミングライツ事業を更に広げられないか
- ④市の貴重な財源となるふるさと納税と企業版ふるさと納税の更なる取組は？

財政について



答弁(要約)

④これまでの返礼品に加え、瀬戸内国際芸術祭の鑑賞パスポートやパンクバンドのライブチケットなど体験型返礼品を増やしています。企業版ふるさと納税も、東京事務所の活用や地元金融機関との連携で、寄付額が増加しています。これからも多くの方に応援して頂けるよう、魅力的な返礼品や、効果的なPRに取り組みしていきます。

質問

- ①災害時の避難所での通信環境をどう整備するか
- ②新しい総合防災情報システム(SOBO-WEB)をどう活用するか
- ③スフィア基準(避難所の国際的な生活基準)をどう取り入れるか



防災対策について

答弁

③昨年12月に、避難所に関する指針がスフィア基準を踏まえて改定されましたが、市の備蓄計画はまだ基準を満たしていない部分があります。48時間以内に全ての避難所で基準を達成できるよう、備蓄計画の見直しを進め、避難所の生活環境の改善に取り組んでいきます。

質問

- ①市民が安心して過ごせるよう、年末年始の医療体制をどう強化するか
- ②救急電話相談の充実を県に要望するか
- ③市民への医療機関の受診情報の周知をどう進めるか



安心の医療提供体制について

答弁

①年末年始などの連休の期間に感染症が流行すると、救急患者が集中し医療現場が混乱します。重症患者の診察にも支障があるので、さらなる医療体制の充実が求められます。一方で、医療従事者の負担軽減や人材確保も課題です。今後、必要な人が安心して医療を受けられるよう、市医師会と協議しながら、休日当番医の在り方や体制の強化を検討します。

質問

- ①国の認知症施策推進計画を踏まえた本市の方針は？
- ②今後の新しい認知症観の普及にむけて、ユマニチュードの技法を広める具体策は？

答弁

認知症対策について

②今年度にユマニチュード講座を開催。今後は、自治会等で開催する認知症サポーター養成講座に、ユマニチュードの技法に関する内容を組み込み、市職員向け講演も予定しています。これらの取組を推進し、認知症の人や家族が安心して暮らせる地域づくりを目指し、新しい認知症観の普及に努めます。

質問

- ①高齢化や空き部屋の現状をどう捉えているのか
- ②市営住宅の活性化のために、子育ての入居要件の拡大や、学生向けの優先募集枠を設ける考えは？
- ③自治会がなくても災害に備えられる体制をどう整えるか。

答弁

市営住宅の活性化について

②子育て向けの特定目的住宅を常時募集にし、子育て世帯に適した、リノベーションした部屋も提供開始しました。学生枠については、対象住宅の選定やニーズ等の調査を行い、その必要性を見極めて検討します。

質問

- ①第5次高松市病院事業経営健全化計画のもとで病院経営をどう支えていくのか
- ②今後深刻化する看護師不足への対策は？
- ③看護師の質をどう保つのか。



答弁

地域になくてはならない病院について

③みんなの病院では、接遇の手引きを整え、職員相互の評価や外部接遇研修の開催。さらに患者アンケートを実施。提案箱の設置やオンライン研修も活用し、看護の質を高める取組を進めていきます。

質問

- ①学校の設置基準や優先順位は？
- ②工事方法を工夫し、授業や行事等への影響を減らせないか
- ③断熱・遮熱対策をどう進めるのか
- ④災害時に使える自立運転機能付きGHP & ガスタンク設備の導入は？
- ⑤PFI一括発注の際、市内企業の参画をどう確保するか



小中学校体育館への 空調整備について

答弁

- ①児童生徒数や施設の状況を踏まえ、外部の専門家と協力しながら検討を進めます。
- ⑤市内企業の参画は必要不可欠ですので、市内企業が参画できるよう配慮していきます。

● 9月議会報告(一般質問) ●

質問

- ①子宮頸がん検診に「HPV検査単独法」を導入できないか
- ②本市の医療用補整具助成事業で、がん患者だけではなく、脱毛症など外見の変化に悩む方へ補助拡充はできないか

がん対策について

答弁

- ①先行自治体の取組を参考にしながら、課題等を整理した上で、HPV検査単独法の導入を検討していきます。
- ②脱毛症に悩む方々の心理的負担などを軽減するため、他都市の事例も参考にしつつ、がん患者以外の方も対象とするよう助成事業の拡充を検討します。

質問

- ①手話施策推進法が成立したことへの所見
- ②市役所全体でどのように議論を進めていくのか
- ③手話通訳者を正規職員として採用しやすくするため、年齢要件を緩和できないか
- ④9月23日の「手話の日」にイベント等を開催し、市民の理解や関心を深めては？
- ⑤市のホームページなどに「手話リンク」を導入する考えはあるか

手話施策推進法の成立を受けて



答弁

- ③採用のあり方については、より柔軟な方法を検討していく。
- ④香川県聴覚障害者協会など関係団体と協議しながら、「手話の日」にイベントを開催する方向で検討を進めます。
- ⑤手話リンクは、障害者差別解消法の合理的配慮にあたるため、市でも導入を進めるための検討します。

質問

授乳室で「搾乳もできる」と明示するなど、必要とする方が安心して利用できる環境を整える考えは？

子育て支援の充実について

答弁

まず、市の施設にある授乳室から、搾乳可能であることを示すサイン表示を進めます。また市民への理解を促すとともに、市ホームページ等で民間施設のサイン表示や職場での搾乳スペースの設置を呼びかけ、安心できる環境づくりを進めていきます。



質問

- ①ゼロカーボンシティ宣言をしている本市として、環境配慮型の指定ごみ袋を早く導入すべきではないか(デザインリニューアルも含め)
- ②大サイズの小分け販売や、レジ袋代わりに使えるような市民ニーズに沿った販売方法の考えは？



答弁

本市の指定ごみ袋について

- ①バイオマス配合の指定収集袋については、社会情勢や国の動きを注視しながら、導入に向け検討を続けます。
- ②市民アンケートなどでニーズを把握し、先進自治体の事例も参考に、多面的に検証していきます。



あっちこっち高ちゃん

2月9日 一宮地域防災訓練に参加

今回の訓練では、自分が担当したい部署をみんなで選び、話し合いながら取り組みました。私は「災害時の簡易トイレの設置」を担当。思ったよりスムーズにはいきませんでした。皆さんと力を合わせ、あれこれ工夫しながらなんとか完成！達成感いっぱいのでころで記念にパチリ。



6月7日 世界禁煙デー香川フォーラム2025に参加

タバコの害から健康を守るために、「禁煙支援のコツ」や「禁煙支援の現状と課題」についてのお話を伺いました。とても勉強になりました。健康は誰もが願うものです。その実現のために、一歩一歩努力していきましょう。



6月29日 高松市防災訓練に参加

今回初めて聴覚障害者協会の皆さんも参加。手話や障害の有無を示すバンダナを使い、避難所受付での訓練が行われました。その後は手話理解を深めるコーナーも。理事長さんと一緒にパチリ！



9月1日 デフリンピックキャラバンカーが高松市役所に！

11月15日から始まる東京2025デフリンピックに向けて、全国を巡るキャラバンカーが高松市にやってきました。デフリンピックは、耳のきこえない・きこえにくい選手が世界で競う「もうひとつのオリンピック」。みんなで一緒に盛り上げていきましょう！



9月20日 子ども食堂「どんぐりキッチン」でボランティア

毎月一度、調理のボランティアに参加しています。この日はなんと新米30kgの寄付がありました！物価高騰でお米の確保も大変な中、本当にありがたいことです。子どもたちの笑顔と、お母さん方の安らぎにつながる場になるよう願っています。



今年の夏は、本当に暑かったですね！統計史上いちばんの暑さだったそうで、体感でも納得でした。私もクーラー無しでは過ごせない日々が続きました。暑さで大変な毎日でしたが、未来のためにできることから少しずつ温暖化対策を進めていきたいですね。皆さんは、どんな工夫でこの夏を乗り切られましたか？